

# 平野屋会所の現地説明会が行われる



八日(日)、府教委の応援を得て市教委主催の「現地説明会」が行われ、午前と午後の合計で約六百人が参加。日本共産党の山下よしき参議院議員を初め、三人の国會議員、両府議、市議十数人も出席。文化庁の記念物課長、主任調査官も来られました。

会所に詰めかけ、説明を聞く多数の市民

## 市は改めて国史跡申請すべき

### こざき議員の代表質問 —6月8日「日曜議会」—

参加していた研究者から「建物が解体されたことはマイナスだが、発掘によって数次にわたって増改築されているなど新たに判明したプラスもある」「建物が存在した時は国が史跡級と太鼓判を押すなど、上からの要素が大きかったが、今度市が国史跡指定を申請するなどの姿勢が問われている」との声が寄せられています。

今回の「施政方針」を読んで、「三期目にはこうするんだ」という新しい意欲と方向が感じられます。新味がなく、大東をどんな街にするのかのビジョンがなく、夢やロマンが感じられない。先の選挙戦のなかでも、市長のやり方にたいして、「切るだけなら誰でもできる」と手厳しい批判の声が出されていました。

小泉「構造改革」路線が行き詰まり、矛盾と破綻が誰の目にも明らかとなってきました。日本全体の大きな流れが変わろうとしている。それなのに岡本市長が旧来の考え方に止まり固執していること、そして選挙での市民の批判を真摯に受け止めず、反省がないことから来ているのではないかということですが。

市長、あなたは三選を果たしたものの、前回より三六〇〇票減らし、対する松久候補が約二三〇〇票を増やした。これは、岡本市政二期八年への厳しい審判の現れと考えるが、市長は、どう感じているか。



岡本市長は二期八年、「民間でできることは民間で」を合言葉に行政に民間会社の手法を持ち込み、一期目、公立保育所の民営化や学校給食調理の民間委託を他市に先駆けてすすめる、二期目には公共施設の「指定管理者制度」の導入をこれも他市より先行実施するなど「民間活力」を行政にもちこんできました。また市民には「自立自助」を求めつ

つ、国保税三回、上下水道料金二回、介護保険料二回など各種公共料金を値上げ、「敬老祝金」を廃止するなど市民サービスの切り縮め、切り捨てをトップダウンで強行してきました。橋下知事もいま、府の財政難を理由に財政再建プロジェクトと称して府民生活に直結する施策を軒並み切り下げ、市町村補助金をカットするなどトップダウンで強引な府政運営をすすめるようとしています。しかし関係者の合意がない、上からの強引なPT案に各所で強い反発が起き、ほころびが出てきています。

知事は一旦示した三五人学級の廃止を撤回、障害者医療費助成制度の縮小も撤回、警察官の削減も撤回を表明、弥生博物館も存続の方向へ転換するなど変更を余儀なくされています。

(裏面につづく)

# 大東民報

## 議会版

日本共産党  
大東市議会議員団  
大東市谷川1丁目1-1  
TEL 072-871-5588

市会議員 **つとむ** 市会議員 **かつこ** 市会議員 **しげる**

市議員 **つとむ** 市議員 **かつこ** 市議員 **しげる**

TEL 090-3864-5037  
TEL 090-1079-8939  
TEL 090-7099-8429

## 法律相談

7月2日(水)7時～  
大東市民会館  
※要予約、先着順  
871-5588まで

# 古崎議員の代表質問

(一面より続き)

このように矛盾と破綻が露わになっても、市長、あなたは今後もこれまでの路線を続けるつもりなのですか。「施政方針」では「職員人件費の削減や既存事業の見直し」として、職員削減の「市構造改革指針」の実行と新たな市民向け施策の切り捨てを示唆しています。何を新たにやるつもりなのか。それとも「構造改革」路線で痛みを苦しむ市民に思いを馳せて、社会的弱者に暖かい手を差し伸べる積もりがあるのか、明確にお答え下さい。

ところで府も市も「行革」をすすめる理由として財政難といいますが、府にあっては大型公共事業を野放図にすすめてきたことが大きな原因であり、これにメスを入れることを抜きに根本的な財政再建はあり得ません。大東市も市民には我慢を強いるのに、旧同和行政にまともな手を付けないのでは、市民の理解と納

得が得られません。いまの時代はトップダウンで上から押しつけるのではなく成功しません。市民、府民とともに下から地方財政確立に向け、大元である国にしっかりとモノをいっていく、このことが必要ではないでしょうか。



## 府PT案について

PT案が実施されると、本市財政への影響額は一億八千九百万円との試算が先に示されています。今回の「施政方針」では「大阪府へ前年どおり事業実施ができるよう要望を行ってきた」と書かれています。市長は過日の初登庁挨拶で「行革論からいえば、府PT案は推

進すべき」と述べています。「慎重にやってもらいたい」と付け加えてはいるものの、本音は橋下知事のやり方に共感しているのではないかと。現に岡本市長の二期八年は、市民向け施策のカットが軒並みで、考え方の上で橋下知事と共通していると思うが、どうか。

そして府が予定どおりカットした場合、「施政方針」では「府の補助事業を全て肩代わりすることは困難」としているが、市単独でも施策を維持すべきと考えますが、どうか。  
**(答) 知事の「改革が必要」という考え方には賛同すべきで、他に迷惑をかけるべきではない。**

## 総合計画について

第一期計画は平成22年度で完了しますが、市長が「施政方針」で述べている「見直し」の旨は何か。議会でも議論になっているJR新駅を総合計画のなかで新たに位置づけるのか。また総合計画のなかでは「歴史、文化財を生か

した街づくり」がうたわれているが、平野屋会所も位置づけるのか。  
**(答) 新駅を総計に位置づけるのは困難。会所は国府の動向を見て検討。**

## 平野屋会所について

今朝、我々議員も平野屋会所の発掘現場を見学した。午前中だけで三百人の市民が、午後も含めると六百人の市民が訪れ、関心の高さを示しています。それだけでなく、国会議員三人、両府会議員、文化庁の課長と主任調査官も来ておられた。居合わせた研究者に聞くと「有名な高松塚でもこれほどのメンバーが顔を揃えることはない」とのことです。現場は小学校の運動場位の広さの土がはがされ、瓢箪池や船着場の石段、千石倉の基礎、会所建物の礎石以外に未知の築地跡も出土して迫力がありました。  
市長は「施政方針」で「伝承」と過去形で語り、先ほどの答弁でも「残せず、残念」で終わっている。市長も現場をみられ

たと思うが、解体で過去のことと終わらせないで、ぜひ保存したいと思わないか。

**(教育長) 建物がなくなつて終わりではない。史跡指定は国や府との協議が必要なので「慎重」に対応したい。**



## 後期高齢者医療保険制度

同制度が四月からスタートし、年金から後期高齢者医療保険料を天引きすることについて、お年寄りから強い反発と怒りの声が全国的に出されています。

ところが「施政方針」では、これほど焦眉の課題となつている後期高齢者医療保険について何も触れていないのは問題といわねばなりません。どうか。

**(答) 広域連合がやることなので、触れていない。**

また今議会に提出している議案のなかで、国保税を介護保険に上乘せして年金から天引徴収することが打ち出されています。唯でさえ、少ない年金から介護保険に上乘せして国保税を天引きするのはひど過ぎると考えますが、どうか。

## 学校の統廃合について

「施政方針」では学校統廃合という表現が反発を招くからか、「統合」と言い換えています。言い換えても事の本質は何ら変わりません。教育困難がいわれる今こそ、少人数学級で行き届いた教育をすすめることが必要で、市独自で非常勤講師を採用してでも学級定員を引き下げるべきです。そうすれば一学年の複数学級が保たれ、統廃合をしなくても済むと考えますが、どうか。  
**(答) 平成13年度からくり返し検討してきており、「統廃合先にありき」ではない。**

(次号につづく)